

指導講評では、音楽科の坂井先生から、「1年生らしいパワーある合唱、きれいな合唱が披露できたこと、各学級のカラーが混じり合ってすごくよかったこと」を褒めていただきました。坂井先生の話から、1年生のみなさんは、入学した頃は、パート練習もままならない状況であったことを思いだし、自分たちの成長を実感しているようでした。

小畑主任からは、『本気で向かうことができた後には、必ず何かがある。今日、本気で「うれしい」「くやしい」と感じることは、みんなの成長につながる。この後、18日の川中音楽祭に向けて、何を求めていくか、当日自分が何を思っていたら◎なのか、学級としてどんな「学級らしさ」を追い求めていくのか、当日どんな思いを伝えていくのかを考えてほしい。』というお話がありました。

保護者の方からも、

- ・成長を感じた。金賞銀賞関係なく、素敵な合唱だった。来年が楽しみ。
- ・小学校の卒業式の時とは比べものにならないくらい成長した姿を見ることができた。特に、学年合唱を聴いて、心が震えた。どの学級も、力を合わせて頑張ってきたことが伝わってきた。
- ・はずかしさを越えて、大きな声を出していた。みんなの合唱が、胸に刺さった。今日は、来てよかった。

という、温かいメッセージをいただきました。

歌は、その瞬間に消えてしまうけれど、人の心にはちゃんと残っている。

「歌う」とは、訴えること……。

歌を通して人の心に「訴える」ことで、人の心を動かすことができる……。

合唱が好きな人もそうでない人も、共に力を合わせて高めることのできた1ヶ月間でした。学級の仲間と共に作ってきたものを、ぜひ、18日の川中音楽祭で発揮してください。

今年の1年生の合唱、本当に素晴らしいです!!パワーがすごいです。今後がとても楽しみです。